

西暦 2021 年 10 月 25 日

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

## 記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	産褥健診で胎盤遺残を疑う超音波像を認めた症例の検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 林 周作・産科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2016 年 1 月から 2020 年 12 月までに当センターにおいて産褥健診で子宮内に胎盤遺残が疑われた患者さん
研究期間	研究実施許可後～2022 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	産褥健診の子宮超音波検査で子宮内に胎盤遺残が疑われることがあります。胎盤遺残が疑われた場合に性器出血などの合併症の心配がありますが、その頻度や、胎盤遺残像が消失する時期については十分には解明されていません。 本研究では当センターにおいて産褥健診で子宮内に胎盤遺残が疑われた患者さんを対象とし、性器出血などの合併症が起こる頻度と胎盤遺残像の消失時期を検討します。 この研究によって、胎盤遺残が疑われる患者さんに今後の見込みを伝えることができます。研究対象となる方の診療録から情報収集を行い、統計的解析を行います。個人情報の保護のために診療録の情報は匿名化の上で取り扱います。また研究成果の公表に際しては個人が特定されることはありません。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	診療録情報(患者名, 患者 ID, 既往帝王切開, 子宮内手術歴, 初経産, 体外受精, 前置胎盤・低置胎盤, 妊娠高血圧症候群, 早産期前期破水, 臨床的絨毛膜羊膜炎, 死産, 胎児数, 分娩時年齢, 分娩時 BMI, 分娩方法, 分娩週数, 児の出生体重, 分娩時出血量, 胎盤用手剥離, 分娩第 3 期の時間, 胎盤遺残像の厚み, 血流ドプラ像, 性器出血, 輸血, 子宮内バルーン止血術, 子宮内除去術, 子宮動脈塞栓術, 子宮摘出術)
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人

に係る手続き	情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 産科 林 周作 電話 0725-56-1220 (代表)